

相良 700 年が生んだ保守と進取の文化 ～日本でもっとも豊かな隠れ里 - 人吉球磨～

文化庁の日本遺産認定制度がはじまった平成27年、第1弾として、人吉球磨の歴史と文化を物語るストーリー「相良 700 年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里一人吉球磨～」が認定されました。それ以降、人吉球磨地域 10 市町村や民間団体等で構成する「人吉球磨日本遺産活用協議会」がストーリーの周知や魅力発信に積極的に取り組んでいます。

ここに名を連ねる寺社仏閣、史跡、仏像、風習、お祭りなどの一つ一つが、先人たちから受け継がれた暮らしの積み重ねであり、今も息づく歴史文化。これらに触れ、知ることが、地域の歴史文化を誇り、守り伝え、地域資源としてさまざまに活用することにつながります。

1 神瀬住吉神社



航海の神として、球磨川を行き来する藩主や船頭たちの信仰を集めてきた神社。

4 山田大王神社



相良氏が滅ぼした平河氏の怨霊鎮魂のために建立した神社。

7 十島菅原神社



この地域で最大の天神様として、領主から民衆まで信仰を集めた神社。

10 井口八幡神社



相良氏の「戦の神」として代々保護をうけてきた神社。

13 ウンスンカルタ



全国で唯一、人吉藩でのみその遊戯法が継承されてきた遊び。現在は人吉市の民間団体が継承する。

16 大信寺



第22代相良頼喬の母の菩提寺。帝王切開で頼喬を出産し死亡したとされ、安産を願う民衆の信仰を集めた。

19 勝福寺関連文化財



勝福寺は相良氏入国以前の在地豪族の菩提寺ながら、相良氏による保護を受け続けた寺院。

22 王宮神社



多良木地域の鎮守として、相良氏の手厚い保護を受けた神社。茅葺き屋根の楼門は日本最古級。

2 城山観音堂の十一面観音菩薩像



戦国期の相良氏当主が造らせ、周辺住民が代々大切にしてきた仏像。

5 東俣・西俣阿蘇神社



五木の民衆との結びつきを重視する藩主が代参を続けた神社。

8 井沢熊野座神社



第16代相良長唯（義滋）により再興。民謡「球磨の六調子」にも歌われるほど、民衆に親しまれてきた神社。

11 人吉温泉



温泉町にあった最古の温泉には第12代相良為統が湯治したという記録が残る。民衆も疲れを癒してきた。

14 老神神社



相良氏の氏神として保護され、周辺住民から「老神さん」として親しまれる神社。

17 願成寺と相良家墓地



相良氏の菩提寺で、江戸時代は郡内の諸寺を束ねた格式高い寺院。裏に代々当主の墓が集められている。

20 須恵阿蘇釈迦堂



在地豪族の須恵氏が創建し、相良氏代々が保護した。釈迦三尊像が人々に大切に守られてきた。

23 青蓮寺阿弥陀堂



鎌倉時代以降の多良木相良氏代々の菩提寺で、民衆の信仰を集めた。中世的な景観を残している。

3 高寺院



相良氏が滅ぼした矢瀬氏による草創ながら、代々の相良氏が手厚く保護した寺院。

6 雨宮神社



戦国期、相良氏が雨乞い祈願をしていたところ、たちまち大雨になったと伝わる神社。

9 木本神宮



相良氏が滅ぼした平河氏の居城だった岩城跡に、第13代相良長毎が市房山神宮と同体の祭神を勧請。

12 青井阿蘇神社



相良氏の手厚い保護を受け、領内の惣鎮守として領主や民衆から深い信仰を集めてきた神社。

15 人吉城跡



相良氏代々の居城。山城の一角を石造りへ変更し、球磨川と支流胸川を天然の堀とする珍しい「川の城」。

18 岩屋熊野座神社



相良氏による度々の修造が行われた神社。熊野信仰の広がりとともに民衆の信仰を集めた。

21 山上八幡神社



戦国期に滅ぼした上村氏を供養するため、相良氏が安土桃山時代に建立した神社。

24 太田家住宅



江戸時代、藩の許可を受けて焼耐作りを行っていた民家。焼耐文化の盛行を示す。